

# なりたい自分を発見! 「生きる力」を育む岩手高校のキャンパス



学校長  
村井 伸吾

大正15年、本校創立者である三田義正は日本の将来を支える健全な若者を育てたいという考えから旧制岩手中学校を設立しました。「岩手から将来社会に役立つ有為の人材を生み出そう」というのがこの学校の理念です。皆さんの将来の職業や自己実現につながる大学あるいは専門学校への進学をきちんとサポートすることはもちろんですが、社会に貢献できる豊かな人間性を養うことも大切にしています。そのために、すべての教員が、生徒との信頼関係を大切にしながら、一人ひとりの可能性を伸ばす指導を心がけています。

この岩手高等学校で皆さんがアクティブに、そして楽しんで高校生活を送って欲しいと願っています。

## アクティブ・ラーニングの取り組み

アクティブ・ラーニング(以下AL)は問題発見力や課題解決力、論理的思考力などの養成を図るものですが、確かな基礎知識を身につけた上で、ALによって個性や応用力・表現力を育むべきであると私たちは考えています。

ALの導入によって生徒が積極的に参加し、楽しく学ぶことができるような授業づくりを工夫していますが、大学進学、専門学校進学、就職など生徒の第一志望をかなえるという目標に変わりはありません。

高校生としての基礎学力は十分に育成し、そこで得た知識が大学や実社会でも活用できる知識となるように、ALによって生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指します。